

# 群馬県国民健康保険運営方針の取組状況

平成30年度第1回国保運営協議会 資料4-2  
平成30年11月20日

国民健康保険運営方針		これまでの主な取組状況	今後の主な取組
第2章 国民健康保険の医療に要する費用及び財政の見通し	赤字削減の取組	・平成28年度決算では7市町村が赤字であったが、国保制度改革に伴う公費拡充や保険税率の変更により、平成30年度当初予算の時点では赤字解消見込み	・保険税率の適正な設定、医療費適正化、収納率向上及び保険者努力支援交付金の確保など財政収支改善に向けた取組について市町村に助言
	財政安定化基金の運用	・国保制度改革に伴う急激な負担増を抑制するため、基金を活用し、11市町村に対し激変緩和措置を実施	・市町村が収納不足等により財源不足となった場合に貸付 ・県の特別会計において財源不足となった場合に取崩し
第3章 納付金及び標準保険料率の算定方法	保険税水準の統一	・保険税水準の統一に向け検討すべき課題を整理	・課題解決に向け市町村と協議
	納付金の算定方法	・各市町村の医療費水準によって増額又は減額する割合を平成31年度から徐々に縮小することについて市町村と調整	・医療費水準による納付金の調整を徐々に縮小するとともに、県の交付金を活用し医療費適正化を推進
	激変緩和措置	・激変緩和措置を徐々に縮小させることについて市町村と調整	・今後、市町村の負担増の状況を踏まえ、具体的な終了時期を市町村と協議
第4章 保険税の徴収の適正な実施	収納対策の強化	・国保連合会と共同して収納率向上対策研修会を開催するとともに、収納率が低い市町村に収納率向上アドバイザーを派遣	・収納率の低い市町村に技術的助言を実施するなど、引き続き収納率向上に向けた取組を実施
第5章 保険給付の適正な実施	保険給付の点検、事後調整	・県が保険給付の点検を行えるよう、市町村が保有するレセプト情報の県への提供について合意	・平成31年度に保険給付の点検が行えるよう国保総合システムが改修されるのにあわせ、県による点検を実施
	療養費の支給の適正化	・海外療養費の申請について、本県のガイドラインに基づき審査確認を行うよう市町村に周知 ・高額な申請について市町村と情報共有	・今後も療養費の支給の適正化に向けた取組を実施
	第三者求償の取組強化	・国保連合会と共同し第三者求償事務に係る研修会を開催 ・国保連合会が自動車事故に係る直接求償の受託を開始	・事務手順書の作成や国保連合会による自動車事故以外の直接求償の受託開始など、実施体制の構築に向け市町村及び国保連合会と協議
第6章 医療費の適正化の取組	医療費の適正化	・県医師会等と連携し、「群馬県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定中 ・国保連合会等と連携し、「保健事業支援・評価委員会」で市町村に対し個別に助言を実施	・「群馬県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を活用した重症化予防対策を実施 ・特定健康診査・特定保健指導の実施率向上に向けた取組を推進 ・保健事業担当職員の人材育成を行うため研修を実施
第7章 市町村事務の広域的及び効率的な運営の推進	事務処理の標準化・共同処理の推進	・被保険者の利便性の向上や事務の効率化を推進するため、事務処理マニュアルを策定し、事務処理の標準化を推進	・被保険者証と高齢受給者証の一体化など、事務処理の一層の標準化に向け市町村等と協議
第8章 保健医療サービス・福祉サービス等に関する施策との連携	保健医療サービス・福祉サービス等との連携	・市町村の医療・保健・介護予防の各部門の連携体制構築を支援するため、県の健康づくり及び介護予防担当課と連携し、「健康寿命延伸・介護予防に関する市町村トップセミナー」を開催	・国の「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に向けた検討も踏まえ、効果的・効率的な健康づくりを推進
第9章 その他安定的な財政運営及び効率的な事業運営のために必要な連絡調整等	連携会議の開催	・「群馬県市町村国民健康保険連携会議」を開催し、市町村と意見交換や協議を実施 ・平成30年度から財政部会と事業運営部会に加え、被保険者の健康づくりや医療費適正化を推進するため、新たに保健事業部会を設置	・今後も継続して開催